

令和4年12月12日

令和4年第3回神奈川県議会定例会

# 厚生常任委員会報告資料

福祉子どもみらい局・健康医療局

## 目 次

ページ

- 1 「かながわグランドデザイン 第3期実施計画 点検報告書（素案）」について..... 1
- 2 「かながわコロナ医療・福祉等応援基金」への寄附募集の終了について..... 4

# 1 「かながわランドデザイン 第3期実施計画 点検報告書（素案）」について

## (1) 趣旨

令和元年7月に「かながわランドデザイン 第3期実施計画」（以下「第3期実施計画」という。）を策定し、計画を推進してきたが、令和4年度は「第3期実施計画」の計画期間の最終年度となる。

政策のマネジメント・サイクルでは、計画の最終年度において、政策全般について点検を行うこととしている。

また、「かながわランドデザイン 基本構想」（以下「基本構想」という。）についても、状況の変化に応じて総合的に点検を行うこととしている。

そこで、「基本構想」及び「第3期実施計画」の点検を行い、神奈川県総合計画審議会の審議を経て、その点検結果について、「かながわランドデザイン 第3期実施計画 点検報告書（素案）」（以下「点検報告書（素案）」という。）としてとりまとめた。

## (2) 経緯

- ・ 令和4年5月30日から6月3日に書面開催した神奈川県総合計画審議会で、「『第3期実施計画』点検基本方針」について審議し、了承された。
- ・ 令和4年11月14日開催の神奈川県総合計画審議会で、「点検報告書（素案）」について審議し、了承された。

## (3) 「点検報告書（素案）」の概要

### ア 「基本構想」の点検

神奈川が人口減少局面に入ったこと、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により生活困窮や社会的孤立など社会に潜在していた課題が急速に顕在化したこと、また、社会のデジタル化が加速したこと、脱炭素社会に向けた動きが国内外で活発化していることなど、「基本構想」策定以降の社会環境の変化について整理した。その上で、「基本構想」に示した「基本目標」や「政策の基本方向」について検証を行った。

## イ 「第3期実施計画」の点検

### (ア) プロジェクトの点検

23のプロジェクトごとに、次のとおり点検を行った。

- ・ 「総合分析」として、プロジェクトのねらいに向けた取組みの全体像を整理した。
- ・ 「指標の動向」「K P Iの達成状況」として、計画期間4年分の状況を示すとともに、その要因を分析した。また、4年間の「主な取組みと成果」を明らかにした。
- ・ 「プロジェクトをとりまく中長期的な課題や方向性」として、社会環境の変化などを踏まえ、今後検討していくべき課題や方向性を整理した。

### (イ) 新型コロナウイルス感染症の影響の検証

コロナ禍の影響により、事業の中止や延期など大幅な事業見直しを余儀なくされる中、創意工夫により代替策を講じてきた取組みを整理するとともに、これまでの取組みがコロナ禍で開花し、より一層の効果を発揮した実績を整理した。

### (ウ) SDGsの理念を生かした社会的課題への対応状況の検証

県民、NPO、企業、大学、行政等の多様な主体とSDGsの理念を共有し、連携して社会的課題の解決に取り組んだ状況を整理した。

## (4) 公表等

「点検報告書（素案）」は、県のホームページで公表するとともに、県政情報センターや地域県政情報コーナーで閲覧できるようにする。

また、「点検報告書（素案）」の概要版を作成し、県民意見募集等に活用する。

## (5) 今後の予定

令和4年12月中旬

～5年1月中旬

令和5年2月

3月

「点検報告書（素案）」について県民意見募集等を実施  
「点検報告書（案）」のとりまとめ  
神奈川県総合計画審議会での審議  
第1回県議会定例会に報告  
「点検報告書」公表

＜別添参考資料＞

- ・ 参考資料 1 かながわグランドデザイン第3期実施計画 点検報告書 (素案)
- ・ 参考資料 2 かながわグランドデザイン第3期実施計画 点検報告書 (素案)  
概要版

## 2 「かながわ新型コロナウイルス感染症医療・福祉応援基金」への寄附募集の終了について

### (1) これまでの取組

本基金は、新型コロナウイルス感染症に対応する医療・福祉従事者を応援するための事業に必要な資金を積み立てるため、令和2年7月に制定した「かながわ新型コロナウイルス感染症医療・福祉応援基金条例」に基づき設置したものであり、これまで、この基金を活用し、様々な事業を実施してきた。

### (2) 新型コロナウイルス感染症を取り巻く状況の変化への対応

新型コロナウイルス感染症対策については、段階的に通常の医療対応に移行する動きが進んでいる。一方、新型コロナウイルス感染症の影響は、医療・福祉従事者等に止まらず、物価高騰も相まって生活困窮者等へも広がっている。こうした状況の中、県民の皆様からの寄附を、より幅広い支援に活用していくため、今後は、「かながわキントロウ寄附」を通じて新型コロナウイルス感染症による様々な影響を受けた方々への支援を進めていくこととし、用途が限定される本基金への寄附募集を終了することとする。

### (3) 基金の現状（令和4年12月5日現在）

区 分	金 額
県民・企業の皆様からの寄附	1,014,260,678円
職員・議員等の手当等削減による財源 (令和2年度に実施)	687,727,000円
合 計	1,701,987,678円

### (4) 基金活用額（令和4年度事業は予算額）

年度	事業	基金活用額
令和2年度	みんなの感謝お届け事業ほか3件	977,070,321円
令和3年度	潜在看護職員復職支援事業	6,380,000円
令和4年度	子ども関連施設感謝・応援事業ほか 2件	357,969,000円
合 計		1,341,419,321円

### (5) 今後活用が可能な基金の残高見込み（令和4年12月5日現在）

今後活用が可能な基金残高の残高見込み 約3億6,000万円

(6) 今後のスケジュール

令和4年12月下旬 寄附募集終了のお知らせ（県ホームページ等）

令和5年1月末 寄附募集終了

※ 基金財源を確定した後、全額を事業に充当した上で、基金条例を廃止する条例案を提出する予定。